

東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学

第116回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

歯を保存するための医と企業の連携

熊谷 崇

日吉歯科医院 理事長

2019年8月1日（木）17:00～18:30

歯学研究科大会議室（C棟1階）

う蝕、歯周病の予防は、歯科医や歯科衛生士が日々の臨床で取り組んでいることの一つです。フッ素によるう蝕予防、定期的口腔衛生管理が重要であることはもちろんですが、患者個人の歯科疾患リスクを詳細に評価し、リスクに応じた適切な予防管理プログラムを実行することが、これから歯の健康寿命を伸ばしていく上で大きな課題となってくるのではないのでしょうか。

本講演では、これまでに初期のリスク評価から患者毎に予防プログラムを適応し、長期メンテナンスを通して、生涯に渡る歯の保存を達成するためのMedical treatment plan (MTM)について紹介させていただきます。MTMを実施することで歯の喪失を防ぐ統計データを元に、酒田市の地元企業と連携してメンテナンスを助成し企業が進める「健康経営」と「医療費削減」を目的とした歯科医療の導入を始めました。またIT企業との連携で、口腔の健康情報を提供するクラウドシステムを用いて歯の保存価値を高めるサービスの提供も開始しています。これまで酒田市を中心に私たちが取り組んできた歯を保存するための方策と医と企業の連携について紹介します。

連絡先：第116回モデレーター 齋藤 正寛（歯科保存学分野）